

# 建築鉄骨溶接構造性能評価申請書

申請グレード	
--------	--

株式会社 全国鉄骨評価機構  
代表取締役社長 山口 種美 殿

(申請者) (フリガナ)  
住所 (〒 - )

(フリガナ)  
会社名

代表者役職 ( )

(フリガナ)  
氏名

性能評価業務規程の各条項に基づき、下記の工場について性能評価を評価有効期間5年として受けたく必要書類を取り揃え申請致します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

20 年 月 日

(申請工場) (フリガナ)  
工場名

(フリガナ)  
所在地 (〒 - )

TEL ( )

FAX ( )

E-mail

会 社 概 要				
建設業(鋼構造物工事業)の許可※2				資 本 金
<input type="checkbox"/> 大臣	<input type="checkbox"/> 知事	<input type="checkbox"/> 特	<input type="checkbox"/> 般	No. ( ) <input type="checkbox"/> なし ( )万円
工場敷地面積	建家延面積	工場従業員	管理技術者実人員	溶接工実人員
m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	人	人	人
既 取 得 大 臣 認 定				
認 定 年 月 日			認 定 番 号	
年 月 日				
評 価 機 構 受 付 年 月 日			評 価 機 構 受 付 番 号	
年 月 日				
評 価 員 会				
判 定	顧 問	幹 事	評 価 員	
工場審査年月日	年 月 日	評価年月日	年 月 日	
改善状況報告	無 , 有 (可・不可)		評価番号	

※1 申請者は、太枠内を記入のこと。

※2 建設業法(鋼構造物工事業)の種別については、該当する項目の(□)をクリックしてチェックマークを表示させてください。

## 工場案内図※<sub>1</sub>

申請工場名			
工場所在地		TEL	
<p>今回、複数工場（分工場）での申請を行う場合には、下記に工場名と住所を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>			
最寄駅・空港、あるいはインターチェンジからの工場までの所要時間 ※ <sub>2</sub>			

※<sub>1</sub> 最寄駅・空港（あるいはインターチェンジ）から工場までの案内図を記入のこと。

※<sub>2</sub> 特急、新幹線等の停車する駅から工場までのルート及び車での所要時間についても記入のこと。

※<sub>3</sub> 分工場を申請する場合は、各工場間の直線距離を明記すること。

# 評価申請諸元表

※1

				工場審査年月日		年 月 日			
申請 グレード	都 道 府 県	申請 工場名		工場審査 希望日	第1希望	20 年 月 日			
					第2希望	20 年 月 日			
雇用保険事業所番号				申請担当者 所属( )氏名( )					
1 品 質 管 理 体 制	氏 名 ※2,3 (雇用保険被保険者番号)		生年月日 (被保険者となった年月日)		資 格 名 称	認 定 番 号	登 録 年 月 日	有 効 期 限	評 価
	① 製作管理技術者 ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	② 溶接管理技術者 ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	③ (i) 製品検査 管理技術者 ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	(ii) 超音波検査 管理技術者 ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	④ 工作図管理技術者 ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	※4 ⑤ 溶接技能者 (横向き申請: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) ( )		年 月 日 ( 年 月 日)				年 月	年 月	
	⑥ 外注管理責任者		年 月 日				年 月	年 月	
	⑦ 材料管理責任者		年 月 日				年 月	年 月	
	⑧ 品質管理者		年 月 日				年 月	年 月	
2 社 内 基 準 の 整 備	規 格 名 称		発 行 年 月 日		発 行 部 門		責 任 者 名		評 価
	① 工 作 図 作 成 基 準		年 月 日						
	② 工 作 基 準		年 月 日						
	③ 検 査 基 準		年 月 日						
	④ 製 作 要 領 書 作 成 基 準		年 月 日						
⑤ 外 注 管 理 基 準		年 月 日							
3 製 造 設 備 の 種 類	製 造 設 備 名 称		数 量	評 価	4 検 査 設 備 の 種 類	検 査 設 備 名 称		数 量	評 価
	① の こ 盤					① 温 度 チ ョ ー ク			
	② 直 立 ボ ー ル 盤					② 表 面 温 度 計			
	③ ポ ー タ ブ ル 自 動 ガ ス 切 断 機					③ 電 流 ・ 電 圧 計			
	④ 被 覆 ア ー ク 溶 接 機					④ 超 音 波 探 傷 器			
	⑤ CO <sub>2</sub> ガ ス シ ー ル ド ア ー ク 溶 接 機					⑤ 浸 透 探 傷 器 具			
	⑥ エ ア ア ー ク ガ ウ ジ ン グ 機					⑥ ル ー ペ ( × 5 以 上 )			
	⑦ ク レ ー ン ( 能 力 トン トン )					⑦ 検 査 台			
	⑧ 下 向 溶 接 用 治 具					⑧ 溶 接 ゲ ー ジ			
	⑨ 下 向 溶 接 用 回 転 治 具					⑨ テ ー パ ー ゲ ー ジ			
	⑩ 溶 接 棒 乾 燥 機					⑩ ア ン ダ ー カ ッ ト ゲ ー ジ			
	⑪ プ ラ ス ト 設 備					⑪ 鋼 製 巻 尺			
	⑫ エ レ ク ト ロ ス ラ グ 溶 接 機					⑫ 膜 厚 計			
	⑬ サ ブ マ ー ジ 溶 接 機					⑬ その他測定検査器具 ( )			
⑭ フ ェ ー シ ン グ マ シ ン				総 合 評 価					

※1 申請者は、太枠—内を記入のこと。

※2 雇用保険被保険者番号のない会社役員、親族についてはその旨を、65歳以上については満年齢を明記すること。

※3 親族の場合は、続柄を記入すること。

※4 J及びRグレードの溶接技能者については、横向き申請の有無を該当する項目の(□)をクリックしてチェックマークを表示させてください。

<資格証（写）貼付欄>

<p>① 製作管理技術者</p> <p>上部糊付け</p>	<p>② 溶接管理技術者</p> <p>上部糊付け</p>
<p>③（イ）製品検査管理技術者</p> <p>上部糊付け</p>	<p>③（ロ）超音波検査管理技術者</p> <p>上部糊付け</p>
<p>④ 工作図管理技術者</p> <p>上部糊付け</p>	<p>⑤ 溶接技能者</p> <p>上部糊付け</p>

※裏に貼付しない。縮小して前面に貼付する。

<雇用保険被保険者資格取得等確認 通知書(写) 貼付欄>

① 製作管理技術者	上 部 糊 付 け
② 溶接管理技術者	上 部 糊 付 け
③ (イ) 製品検査管理技術者	上 部 糊 付 け
③ (ロ) 超音波検査管理技術者	上 部 糊 付 け
④ 工作図管理技術者	上 部 糊 付 け
⑤ 溶接技能者	上 部 糊 付 け

※被保険者番号、被保険者氏名、被保険者となった年月日、事業所名略称等が確認できるように貼付すること。

※①～⑤の中に同一人がある場合には、いずれか一箇所のみ貼付で省略可。

※雇用保険被保険者番号のない会社役員、親族についてはその旨を、65歳以上については満年齢を明記すること。

※会社役員の場合は会社登記書のコピーを添付すること。

## 品質管理組織図及び製作工程図

	<品質管理責任者名>	<実際の部門名>	<品質管理技術者の配置>				
品質管理組織図	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職位名</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(実際の管理体制と整合した品質管理責任者の組織上の位置付けを明確にすること。)</p>	職位名	氏名				<p>(当該管理担当者名※1)</p> <p>(製作管理技術者名)</p> <p>(溶接管理技術者名)</p> <p>(製品検査管理技術者名)</p> <p>(超音波検査管理技術者名)</p> <p>(工作図管理技術者名)</p>
職位名	氏名						
※2 製作工程図							

※1 「社長」が「品質管理技術者」に配置される場合は、社長の指導・監督の下で社長が担当する管理技術者業務を補佐する専任の担当者を配置し、その氏名を品質管理組織図及び製作工程図の中に明記し、雇用保険被保険者資格取得等確認通知書(写)を添付すること

※2 製作工程図の中に、評価申請諸元表に記載されている全ての品質管理技術者名を明記すること。



製作実績リスト-2 (直近12ヵ月分<sup>※1</sup>)

		作 成 年 月 日		20 年 月 日							
		期 間		自 年 月 ~ 至 年 月							
		申 請 工 場 名									
No.	工 事 名 称	製 作 時 期	製作トン数 (t)	建物概要		構造種別		最大板厚 <sup>※3</sup> (mm)	外注 <sup>※4</sup> の有無	外 注 先	グ レード
				階数	延べ床面積 (㎡)	S	SRC				
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
合 計				記入責任者名							

※1 直近12ヵ月以内で製作したものは、工事毎に全て記入すること。

※2 この製作実績リストの中には「完全溶込み溶接部を有する柱梁接合部がある製作実績」が最低1件必要です。

※3 最大板厚は、完全溶込み溶接開先を取る部材について（ベースプレート、通しダイアフラム及びガセット等は除く）各工事毎に記入すること。ただし、完全溶込み溶接開先がない場合は“—”を記入すること。また、申請グレードの最大適用板厚の1/2程度の実績（以下「所定の実績」という）の有無については、「所定の実績」欄の「□」をクリックして、チェックマークを表示させて下さい。

※4 製作外注（孔あけ及び開先加工等の加工外注は除く）のみ記入すること。

所定の実績	製 作 時 期		工 事 名 称	最大板厚 (mm)
<input type="checkbox"/> 有 <small>実績を示す関連資料（工作図、超音波探傷検査記録等）を準備すること。</small>	(イ) 1年以内	年 月 ~ 年 月		
	(ロ) 1年超~5年以内	年 月 ~ 年 月		
<input type="checkbox"/> 無	所定の実績がない場合は、審査当日に十字継手試験体（1体以上）を準備すること。			



製作実績リスト-4 (直近12ヵ月分<sup>※1</sup>)

		作 成 年 月 日		20 年 月 日							
		期 間		自 年 月 ~ 至 年 月							
		申 請 工 場 名									
No.	工 事 名 称	製 作 時 期	製作トン数 (t)	建物概要		構造種別		最大 板厚 <sup>※3</sup> (mm)	外注 <sup>※4</sup> の 有無	外 注 先	グ レ ード
				階数	延べ床面積 (㎡)	S	SRC				
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
		自 年 月 至 年 月									
合 計				記入責任者名							

※1 直近12ヵ月以内で製作したものは、工事毎に全て記入すること。

※2 この製作実績リストの中には「完全溶込み溶接部を有する柱梁接合部がある製作実績」が最低1件必要です。

※3 最大板厚は、完全溶込み溶接開先を取る部材について（ベースプレート、通しダイヤフラム及びガセット等は除く）各工事毎に記入すること。ただし、完全溶込み溶接開先がない場合は“—”を記入すること。また、申請グレードの最大適用板厚の1/2程度の実績(以下「所定の実績」という)の有無については、「所定の実績」欄の「□」をクリックして、チェックマークを表示させて下さい。

※4 製作外注（孔あけ及び開先加工等の加工外注は除く）のみ記入すること。

所定の実績	製 作 時 期		工 事 名 称	最大板厚 (mm)
<input type="checkbox"/> 有 <small>実績を示す関連資料（工作図、超音波探傷検査記録等）を準備すること。</small>	(イ) 1年以内	年 月 ~ 年 月		
	(ロ) 1年超~5年以内	年 月 ~ 年 月		
<input type="checkbox"/> 無	所定の実績がない場合は、審査当日に十字継手試験体（1体以上）を準備すること。			

